

J-STAGEご利用発行機関向け

# J-STAGE 編集登載システム 新機能リリースについて

平成30年6月  
知識基盤情報部



科学技術振興機構

# リリース概要

■リリース日 **2018年6月30日(土)**

## ■リリース概要

### 1. 記事訂正機能の改善

- 訂正履歴なしでの記事訂正機能

### 2. データチェックの強化

- 記事データを登録する際のチェック機能

### 3. アクセス統計機能強化

- 出力項目の最適化
- ボット除外アクセス数および被引用数の出力追加
- 任意の指定期間での複数月集計レポートの作成

# 1. 記事訂正機能の改善

2018年6月30日  
リリース

## ◆ 記事訂正（履歴なし）機能の追加

訂正履歴なしで記事訂正が可能となりました。

・訂正履歴とは  
一度公開をした記事に対して、記事の訂正を行い再公開をすると、公開画面上に「訂正情報」として、訂正した履歴を表示します。

### 【XML登載】記事管理画面

トップ > 資料一覧 > 記事管理

(注) 早期公開記事を本公開する場合は、必ず早期公開記事にある「本公開記事作成」か、記事アップロードの本公開記事アップロードから行ってください。  
公開日の設定は、「未公開」タブにあります「公開日設定」ボタンか、「公開日一括設定」ボタンを選択してください。

☑ すべて開く ☒ すべて閉じる

公開日一括設定 認証一括設定 査読一括設定 記事記述言語一括設定

Vol.55 No.2 [アイコンの説明](#)

すべて(13) 未公開(0) 公開予定(0) 公開済み(13) 訂正未公開(0) 検索(0)

表示項目をすべて選択

1-13 of 13 1

公開中

公開日	2012年05月01日
PAGE system accelerates digitization and distribution of academic journals from システムが加速する国内学術論文誌の電子化と流通 TO	
公開日	2012年05月01日 公開済み
早期公開日	
<input type="checkbox"/>	履歴なし編集可能項目一覧
<input type="checkbox"/>	記事訂正(履歴なし)
<input type="checkbox"/>	記事訂正(履歴あり)

ページ: 106 - 114  
論文番号: 2s0004

書誌事項プレビュー 全文HTMLプレビュー 本文PDFプレビュー リンク削除・間合わせ

CALIL.JP, a new web service that provides one-stop searching of Japan-wide libraries' collections

「記事訂正（履歴なし）」機能で編集が可能な項目を表示しております。

「記事訂正（履歴なし）」より履歴なしでの記事訂正が可能です。

# 1. 記事訂正機能の改善

2018年6月30日  
リリース

## ◆ 記事訂正（履歴なし）編集画面

記事作成・編集画面  
(基本書誌情報)

履歴なしで編集できる項目はラベルの背景が赤で表示されます。  
他の履歴なし項目は「[履歴なし編集可能項目一覧](#)」をご覧ください。

基本書誌情報		著者・所属機関	キーワード	引用文献	ファイルアップロード	公開データ訂正履歴	
原稿種別 ?	英語	<input type="text"/>					
	日本語	<input type="text"/>					
分野(サブジェクト名) ?	英語	<input type="text"/>					
	日本語	<input type="text"/>					
<b>標題</b> (英語、日本語の少なくとも一つは必須) ?	英語	New J-STAGE system accelerates digitization and distribution of academic journals from Japan					
	日本語	J-STAGE新システムが加速する国内学術論文誌の電子化と流通					
副題 ?	英語	<input type="text"/>					
	日本語	<input type="text"/>					
抄録 ?	英語	13 years have passed since J-STAGE was launched. At present no one could have already out of date comparing to foreign established e-journals. So...					
	日本語	科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中...					
著作権 ?	英語	Japan Science and Technology Agency 2012					
	日本語	Japan Science and Technology Agency 2012					
開始ページ連番 (論文番号がない場合は必須) ?	106	終了ページ ?	114	論文番号 (開始ページがない場合は必須) ?	2s0004	原稿受付 ?	<input type="text"/>
発行年 (必須) ?	2012	DOI ?	10.1241/jchokanr155.106		記事記述言語 (必須) ?	<input type="radio"/> 英語 <input checked="" type="radio"/> 日本語 <input type="radio"/> その他	

【注意】  
履歴なし編集が不可の項目はグレーアウトされ、項目の編集ができません。  
編集不可の項目を修正したい場合には、「記事訂正（履歴あり）」からの訂正をお願い致します。

# 1. 記事訂正機能の改善

2018年6月30日  
リリース

記事訂正の編集途中から履歴なし、履歴ありの切り替えを行うことはできません。

記事訂正（履歴なし）、記事訂正（履歴あり）のどちらかのモードを選択し、登録をした後に、途中から履歴あり、履歴なしのモード切替は行えません。  
履歴あり⇔履歴なしの切り替えを行う場合は、一度編集途中の記事を削除し、公開中の記事から「記事訂正（履歴なし）」、「記事訂正（履歴あり）」の選択からやり直す必要があります。

Vol55 No.2

すべて(14) 未公開(0) 公開予定(0) 公開済み(13) 訂正未公開(1) 検索(0)

表示項目をすべて選択 ダウンロード 記事認証設定 記事移動 全記事ソート セクション作成 記事作成

1-14 of 14 1 表示件数 20

公開中

公開日 2012年05月01日

セクション内ソート

New J-STAGE system accelerates digitization and distribution of academic journals from Japan  
J-STAGE新システムが加速する国内学術論文誌の電子化と流通  
科学 太郎

ページ: 106 - 114  
論文番号: 2s0004

書誌事項プレビュー 全文HTMLプレビュー 本文PDFプレビュー

公開日 2012年05月01日 公開済み 早期公開日

記事編集

CALIL JP, a new web service that provides one-stop searching of Japan-wide libraries' collections  
進化する図書館蔵書検索サービス「CALIL JP」

本文の項目のみ訂正履歴なしで編集が可能です。  
編集可能項目一覧  
画面で編集できない項目を訂正したい場合は、記事管理画面より「記事訂正(履歴あり)」の機能をご利用ください。

文字実体参照  
特殊文字リスト

Vol55 号: No2

基本書誌情報 著者-所属機関 キーワード 引用文献 ファイルアップロード 公開データ訂正履歴

(入力例はこちら)

原稿種別	英語	
	日本語	
分野(サブジェクト名)	英語	
	日本語	
標題 (英語、日本語の少なくとも一つは必須)	英語	New J-STAGE system accelerates digitization and distribution of academic journals from Japan
	日本語	J-STAGE新システムが加速する国内学術論文誌の電子化と流通
副題	英語	
	日本語	
抄録	英語	13 years have passed since J-STAGE was launched. At present no one could deny that its user interface and functions were already out of date comparing to foreign established e-journals. So JST has developed a new system called "J-STAGE3" in order to offer better usability and give powerful dissemination of academic papers from
	日本語	科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザービリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発し、(1)
著作権	英語	Japan Science and Technology Agency 2012
		Japan Science and Technology Agency 2012

「記事訂正（履歴なし）」、「記事訂正（履歴あり）」のどちらかを選択し、登録をすると、再度、「記事編集」から開いても最初に選択したモードが継続されます。

# 1. 記事訂正機能の改善

2018年6月30日  
リリース

## ◆ 訂正履歴入力時の変更点

	リリース前	リリース後	
訂正情報	記事訂正	記事訂正（履歴あり）	記事訂正（履歴なし）
訂正箇所	固定文言（編集不可） 英語：Article 日本語：記事内容が変更されました	<b>選択必須（複数選択可）</b> ：（英語） 書誌事項（Bibliography）、 抄録（Abstract）、 引用文献（References）、 本文PDF（Fulltext PDF）、 電子付録（Supplementary materials）、 その他（Other）	なし
訂正内容	任意項目（省略可）	<b>条件必須</b> （訂正内容、訂正理由は英語、若しくは日本語でセット で必須です。）	なし
訂正理由	任意項目（省略可）	<b>条件必須</b> （訂正内容、訂正理由は英語、若しくは日本語でセット で必須です。）	なし

記事訂正  
(履歴あり)  
の  
訂正情報  
入力欄

■訂正履歴

訂正箇所(必須)	英語	Bibliography
	日本語	<input checked="" type="checkbox"/> 書誌事項 <input type="checkbox"/> 抄録 <input type="checkbox"/> 引用文献 <input type="checkbox"/> 本文PDF <input type="checkbox"/> 電子付録 <input type="checkbox"/> その他
訂正内容 (訂正内容、訂正理由は英語、 若しくは日本語でセットで必須 です。)	英語	Author name Wrong:Taro Kasaku / Right:Ichiro Kasaku
	日本語	例)Author name Wrong:Taro Kasaku / Right:Ichiro Kasaku 著者名 誤科学太郎 / 正科学一郎
訂正理由 (訂正内容、訂正理由は英語、 若しくは日本語でセットで必須 です。)	英語	Correction of errors
	日本語	例)Correction of errors 誤記訂正

**【注意】**  
訂正内容を日本語欄に記載の場合、  
訂正理由も日本語欄に記載がないとエ  
ラーとなります。

## 2. データチェックの強化

2018年6月30日  
リリース

### ◆ 記事アップロード時の必須項目の空タグを禁止

記事アップロード時（xmlファイル）の入力必須項目に、**空タグ**が設定されていた場合、エラーとします。

#### ・空タグとは

- ・xmlでの記載時にタグ（<title></title> など）のみ存在し、タグ内に何も記載がない(未入力)状態のことを指します。
- ・基本、タグ内に入力する値がないときは、タグ内の値だけではなく、タグごと削除頂くようお願いします。

#	項目名	チェック名	チェック内容	記事アップロード
1	タイトル、サブタイトル	関連チェック	サブタイトルが設定されている場合は、サブタイトルと同言語のタイトルが未入力の場合エラー（空タグ禁止）	★
2	著者名（姓）・グループ著者	必須チェック	著者名（姓）または、グループ著者が未入力の場合エラー（空タグ禁止）	★
3	引用文献の著者名（姓）・グループ著者	必須チェック	引用文献の著者名（姓）または、グループ著者が未入力の場合エラー（空タグ禁止）	★
4	著者所属機関情報	必須チェック	著者所属機関名が未入力の場合エラー（空タグ禁止）	★

★・・・新規追加のチェック

## 2. データチェックの強化

2018年6月30日  
リリース

### ◆ 引用文献項目のチェック強化

引用文献の項目に対して、チェックを強化します。

#	項目名	チェック名	チェック内容	XML登載	WEB登載	記事アップロード
1	発行年	文字種チェック	半角数字かどうかのチェック(半角数字以外はエラー)	★	-	★
2		桁数チェック	4桁以内かのチェック(5文字以上はエラー)	★	-	★
3	DOI	文字種チェック	半角英数記号かどうかのチェック(半角英数記号以外はエラー)	○	○	★
4		桁数チェック	100文字以内かのチェック(101文字以上はエラー)	○	○	○
5		必須チェック	"/"が含まれていない場合エラー	★	★	○
6	著者(姓、名)、 グループ著者	必須チェック	著者名(姓)または、 グループ著者が未入力の場合エラー(空タグ禁止)	-	-	★
7		桁数チェック	4000文字以内かのチェック(4001文字以上はエラー)	-	-	★
8	引用原文	桁数チェック	4000文字以内かのチェック(4001文字以上はエラー)	○	○	○

★・・・新規追加のチェック

○・・・実装済みのチェック

-・・・入力項目がないためチェックなし



## 2. データチェックの強化

2018年6月30日  
リリース

### ◆ 著者と著者所属機関関連チェックの強化

「著者名・グループ著者名」と「著者所属機関」との関連チェックを強化します。

#	項目名	チェック名	チェック内容	XML登載	WEB登載	記事アップロード
1	著者名・ グループ著者名、 著者所属機関情報	関連チェック	著者所属機関に紐付いていない著者はエラーとしない	○	○	★
2		関連チェック	著者所属機関が登録されている場合は、著者と紐付いていない場合エラー	★	○	★
3		必須チェック	著者所属機関名が未入力の場合エラー（空タグ禁止）	—	—	★
4		関連チェック	著者と所属機関を紐付ける場合、著者、著者所属機関どちらも存在すること	—	—	★
5		関連チェック	著者の削除時に、他の著者に紐付いていない所属機関が紐付いている場合（削除対象の記事にしか紐付いていない所属機関があった場合）エラー	★	—	—
6		関連チェック	所属機関の削除時に、他の著者に紐付いている場合エラー	★	—	—

★・・・新規追加のチェック

○・・・実装済みのチェック

—・・・入力項目がないためチェックなし

## 2. データチェックの強化

2018年6月30日  
リリース

### ◆ 「著者名・グループ名著者」と「著者所属機関」のパターン別登録例

	著者・グループ著者	紐付き	著者所属機関	問題点
パターン 1	著者名A 著者名B 著者名C	— — —	機関名 I 機関名 II 機関名 III	問題なし
パターン 2	著者名A 著者名B 著者名C	— — —	機関名 I 機関名 II 機関名 III	著者と所属機関が正しく紐付いていません。
パターン 3	著者名A 著者名B 著者名C	— — —	機関名 I 機関名 II	問題なし
パターン 4	著者名A 著者名B 著者名C	— — —	機関名 I 機関名 I 機関名 II	同じ所属機関が複数登録されています。
パターン 5	著者名A 著者名B	— —	機関名 I 機関名 II 機関名 III	紐付いていない所属機関があります。

著者グループ著者	紐付き	著者所属機関	修正方法
----------	-----	--------	------

著者所属機関は、著者に紐付いていない場合、エラーとなり登録できません。

著者名A	—	機関名 I	著者と所属機関を正しく紐付ける。
著者名B	—	機関名 II	
著者名C	—	機関名 III	

著者・グループ著者は、無所属の場合もあるため、著者所属機関と紐付いていなくてもエラーとなりません。

著者名A	—	機関名 I	所属機関の重複をなくし、紐付きにより複数著者が同一の機関の所属しているように修正する。
著者名B	—	機関名 II	
著者名C	—		

著者名A	—	機関名 I	著者Bが複数機関に所属している場合、著者Bに機関名 II、機関名 III を紐付ける。
著者名B	—	機関名 II 機関名 III	

著者名A	—	機関名 I	機関名 III が機関著者である場合、グループ著者に機関名 III を入力する。
著者名B	—	機関名 II	
機関名 III			

パターン 2 と同様、一つでも著者所属機関が著者に紐付いていない場合は、エラーとなります。

著者種別を「個人著者」から「グループ・機関著者」に変更し、登録する。

# 3. アクセス統計機能強化

2018年6月30日  
リリース

## ◆ アクセス統計機能強化

- ・ 出力項目を最適化します。
- ・ ボット除外アクセス数を併せて出力します。
- ・ 記事に対する被引用数の出力を追加します。
- ・ 単月だけでなく、任意の指定期間での複数月集計レポートを出力します。

### サマリー集計項目

#	集計項目
1	資料TOP
2	巻号一覧
3	書誌事項
4	全文PDF
5	全文HTML
6	検索画面
7	検索実行

既存のアクセス数に加え、ボット除外アクセス数も出力する。

### 記事別集計項目

#	集計項目
1	書誌事項
2	全文PDF
3	全文HTML
4	被引用文献登録数

アクセス数に加え、被引用文献登録数を出力する。

既存のアクセス数に加え、ボット除外アクセス数も出力する。

複数月指定時、単月集計レポート・複数月集計レポートを一括出力。